

安心・安全への確かな情報を。

一般社団法人 建材技術センター

ISO/IEC17025 登録試験所



JCSS
JCSS 0282

当社校正部門は、国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。JCSS0282 は登録事業者番号です。



当社技術部門は、国際 MRA 対応 JNLA 認定事業者です。JNLA090287JP は登録事業者番号です。

コンクリート部材の劣化診断、PCB含有量分析

我が国の社会資本ストックは高度経済成長期に集中的に整備され、今後急速に老朽化することが懸念されています。今後20年間で建設後50年以上経過する施設の割合は加速度的に高くなる見込みであり、このように一斉に老朽化するインフラを戦略的に維持管理・更新することが求められています。

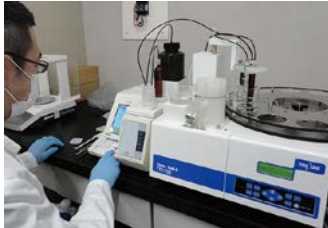
◆当社はコンクリート部材の圧縮強度試験、中性化試験、静弾性係数試験、塩分含有量試験、促進膨張量試験、アルカリ骨材反応試験を行います。また、塗膜中の PCB 含有量分析(第4版に準拠)、絶縁油中の低濃度 PCB 含有量分析を行います。



静弾性係数試験



中性化試験



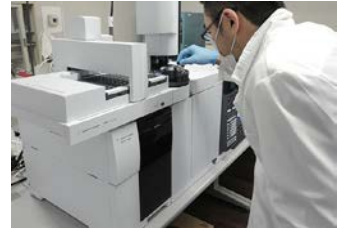
塩分含有量試験



アルカリ骨材反応試験



促進膨張量試験



PCB含有量分析

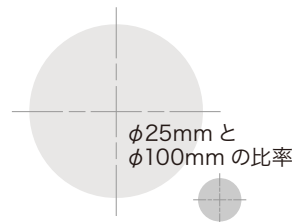
建造物へのダメージを大幅削減

最先端のソフトコアリング試験

ソフトコアリング試験は国土交通省が認めた NETIS (ネティス) に登録されている建造物へのダメージを大幅に少なくする事が出来る最先端のコンクリート調査技術です。従来に比べわずか 1/4 の直径 (従来 $\phi 100\text{mm}$ → 新技術 $\phi 25\text{mm}$) の試験体にて同等の精度で試験結果を出す事が出来るため主要構造部材の試験や従来では難しかった強度にシビアな構造体や完成直後の建造物の試験、またコアサイズの小ささ故に鉄筋損傷のリスクも大幅に低減するコンクリート品質の証明に大きな可能性をもつ試験技術です。国際基準である JNLA を取得したコンクリート試験場でのソフトコアリング試験は 2020 年現在、北海道内においては弊社唯一となっております。

◆小径ソフトコアリング試験のメリット

- ◆ 主要構造部材から採取しても耐力上の問題となる可能性が少ない。
- ◆ 過密な配筋状態でも鉄筋切断の可能性が少ない。
- ◆ 採取が容易で採取後の補修が容易。
- ◆ 長いコアを採取すれば深さ方向の品質分布調査が可能。



アスファルト混合物の品質に透明性を

舗装に関わる材料の特性値を評価

- ◆ 路床・路盤の設計上必要な物理的性質や変形強度特性の評価をします。
- ◆ アスファルトプラントで使用される再生骨材、再生アスファルト、再生混合物の性状試験を行います。
- ◆ アスファルトプラントの検査、アスファルト混合物の室内配合設計、現場試験練りまでの管理試験を行います。
- ◆ 顧客の職員が試験施設を利用した研修を実施します。



CBR 貫入試験



アスファルト回収試験

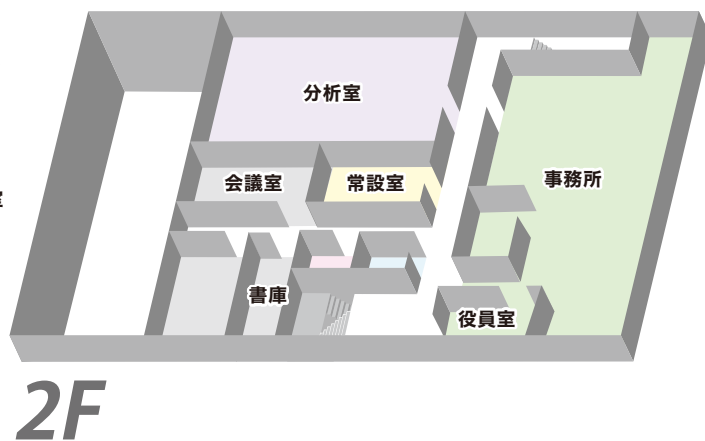
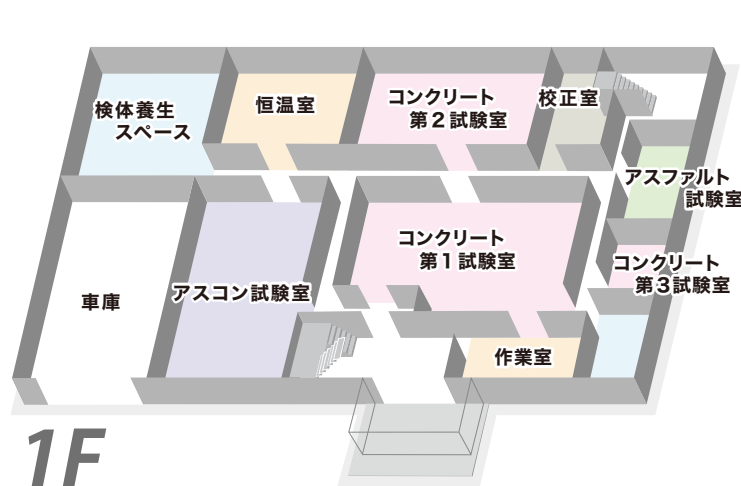


圧裂試験



顧客技術者研修

社屋各種試験機能



◆ コンクリート第1/第2試験室

新規構造物の品質管理や既設構造物の劣化・耐震などの診断に用いられる各種コンクリート試験を行います。



押し抜き試験



モルタル圧縮強度試験

◆ 常設室

常設室は温度を $20 \pm 2^\circ\text{C}$ 、湿度 $60 \pm 5\%$ に管理されており、コンクリート長さ変化試験等を行います。



供試体養生状況



長さ変化試験

◆ アスコン室

マーシャル安定度試験の特性値から最適アスファルト量を求めます。得られた最適アスファルト量で確認試験を行います。



マーシャルオートランマー



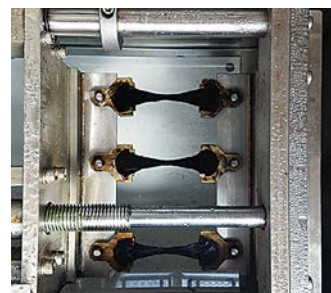
ローラーコンパクター

◆ アスファルト室

舗装用石油アスファルト、改質アスファルトの品質検査、アスファルト混合物から回収されたアスファルトの劣化の評価を行います。



針入度試験



伸度試験

◆ 恒温試験室

ホイールトラッキング試験は加熱アスファルト混合物の高温時における流動性の評価、低温カンタブロ試験は低温時における骨材飛散抵抗性の評価を行います。



ホイールトラッキング試験



低温カンタブロ試験

◆ 分析室

薬品や分析機器を用いて、コンクリートに有害な骨材の ASR 反応、コンクリート中の塩化物イオン等、人体や環境に有害な塗膜内の鉛・クロム・PCB などの分析を行います。



PCB 塗膜前処理



鉛クロム原子吸光

製品の品質、取引の信頼を確立する。

JCSS校正サービス

JCSS は ISO17025 に準拠した国家標準器とのトレーサビリティのある校正を行うための制度であり、経済産業省および同省の独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE が JCSS を所管しています。その事業者の品質システムが適切に運営されているか、校正方法、不確かさの見積もり、設備などが校正を実施する上で適切であるかどうか、などの観点より NITE が行います。

◆ 品質への信頼性

信頼性確保、品質管理、国内強制法規、公共調達要件、各種認証制度など JCSS 標章付き証明書のニーズは年々上昇し、今では年間 12 万件を超える数まで増えています。JCSS 認定事業者による校正を受ける事は第三者（クライアント様）に対する品質の正確さ、国際基準のトレーサビリティを証明でき、プロジェクトそのものに加え、お客様とクライアント様との信頼性向上にも寄与致します。

◆ JCSS 標章付き証明書の活用

JCSS 標章付き証明書を発行致しますのでプロジェクトの進行、また各種監査時に JCSS 認定事業者による校正を受けた証明を提示できます。



質量



力



長さ

第三者試験機関における信用と信頼を。

国際基準JNLA認定試験所

JNLA とは Japan National Laboratory Accreditation System の略称であり、産業標準化法 (JIS 法) に基づく試験事業者登録制度です。これは国際標準化機構、及び国際電気標準会議の試験所に関する基準 ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) への適合性を審査し、適合する事業者を公的認定機関が登録する制度です。

当社はコンクリートの圧縮強度試験、コンクリートの曲げ強度試験、レディーミクスコンクリートの練混ぜに用いる水試験の区分に関する試験事業者として認定されました。試験対象品の試験証明書は「JNLA」ロゴマークが付加されることで、公的な証明書類として使用可能となります。信頼性向上に大きく貢献することをお約束致します。



曲げ強度試験



練混ぜに用いる水試験



圧縮強度試験

一般社団法人 建材技術センター

〒003-0838 札幌市白石区北郷8条7丁目1番5号

TEL : 011(876)8255 FAX : 011(876)8205

URL : <http://bmtc.jp>